

Film History in Posters Part 4:

[展覧会] ポスターでみる映画史 Part 4



恐怖映画の世界

2022.12.13 [火] - 2023.3.26 [日] 国立映画アーカイブ 展示室 (7階)

*月曜日および12月27日(火)~1月3日(水)は休室です。

開室時間: 午前11時~午後6時30分(入室は午後6時まで)

*1/27と2/24の金曜日は開室時間を午後8時まで延長いたします。(入室は午後7時30分まで) *会期および開館時間等に変更がある場合はホームページでお知らせします。

料金: 一般250円(200円)/大学生130円(60円)/65歳以上、高校生以下及び18歳未満、障害者(付添者は原則1名まで)、国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズは無料

料金は常設の「日本映画の歴史」の入場料を含みます。()内は20名以上の団体料金です。

*学生、65歳以上、障害者、キャンパスメンバーズの方は入室の際、証明できるものをご提示ください。

*国立映画アーカイブが主催する上映会の観覧券(オンラインチケット「購入確認メール」またはQRコードのプリントアウト)をご提示いただくと、1回に限り団体料金が適用されます。

主催: 国立映画アーカイブ

国立映画アーカイブホームページ www.nfaj.go.jp/

Twitter: @NFAJ_PR Facebook: NFAJPR Instagram: nationalfilmarchiveofjapan

【新型コロナウイルス感染症拡大予防のため】マスクの着用のない方(2歳未満は除く)、体温が37.5℃以上の方は入館をお断りいたします。



図版(左上から右下) 『八つ墓村』(1977年、野村芳太郎監督)デザイン:米倉加年/『呪怨』(2003年、清水崇監督)/『オペラの怪人』(1925年、日本公開同年、ルバート・ジュリアン監督)/『サイコ』(1960年、日本公開同年、アルフレッド・ヒッチコック監督)/『サスペリア』(1977年、日本公開同年、ダリオ・アルジント監督)/『ゾンビ』(1978年、日本公開1979年、ジョージ・A・ロメロ監督)/『クリステイン』(1983年、日本公開1984年、ジョン・カーペンター監督)

誕生から120年以上のあいだ、映画は見る人にさまざまな感情を呼び起こしてきました。中でも、「恐怖」は人々を抗いがたく引きつけてきました。スクリーンに現れる異形の怪物、人間の心の闇を暴くサイコホラー、あるいは鮮烈な映像表現で綴られる超常現象と、映画は幅広い形で観客に恐怖を提供してきたのです。日本においても、無声映画の時代から怪談文化と結びついた時代劇映画が数多く作られてきただけでなく、1990年代以降は「Jホラー」と呼ばれる作品群が生み出されるなど、恐怖映画は今なお大きな存在感を放ち続けています。

シリーズ「ポスターでみる映画史」の第4回となる「恐怖映画の世界」は、国立映画アーカイブのコレクションを中心に、映画草創期から連続と作り続けられてきた恐怖映画のポスターを取り上げる展覧会です。『カリガリ博士』といった古典から、ダリオ・アルジェントらのイタリアン・ホラー、『ジョーズ』などのパニック映画、そして日本の怪談映画やJホラーの最新作まで、観客を怖がらせ楽しませてきた諸作品の系譜をたどります。工夫の凝らされたポスター・ヴィジュアルや惹句をお楽しみいただき、身も凍る恐怖の世界にどっぷりとお浸かりください。

For more than 120 years, movies have aroused a diverse range of emotions in audiences. One of those emotions is, of course, *horror*, which has long been an irresistible attraction. Films have provided audiences with horror in various forms, from monsters on the screen and psychological contexts revealing the dark side of the human mind to supernatural phenomena described with vivid image. In Japan, as in other countries, horror films continue to be a significant film genre. Works range from numerous period dramas made in the silent film era that are linked to Japan's ghost story culture to the "J-horror" films that first appeared in the 1990s.

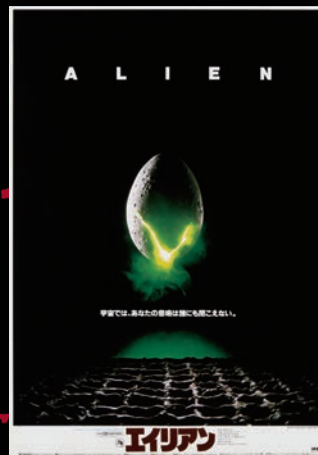
This fourth part of the "Film History in Posters" series, *Horror Films*, presents posters from films dating back to the earliest days of cinema. Featuring items held in the National Film Archive of Japan and other collections, it traces the lineage of films that have both frightened and entertained audiences over the years. Exhibited posters include those of such classics as *Das Cabinet des Dr. Caligari*, Italian horror films by Dario Argento and so on, and disaster films such as *Jaws*. The posters of Japanese ghost stories and the latest J-horror films are also presented. We invite you to admire their creative visuals and catchphrases and immerse yourself in a world of chilling horror.

めくるめく恐怖の世界へようこそ……

『カリガリ博士』からJホラーまで



図版(左上から右下) 『東海道四谷怪談』(1959年、中川信夫監督)、『怪猫赤壁大明神』(1938年、森一生監督)、『フランケンシュタインの逆襲』(1957年、日本公開同年、テレンス・フィッシャー監督)、『ジョーズ』(1975年、日本公開同年、スティーヴン・スピルバーグ監督)、『エイリアン』(1979年、日本公開同年、リドリー・スコット監督)、『ザ・ミソジニー』(「チラシ」(2022年、高橋洋監督)



展覧会の内容

関連イベントを実施する際は、ホームページでお知らせいたします。

- 恐怖映画の古典 —— 怪人・怪物
- 狂気と幻想を求めて —— サイコホラー、ゴシックホラー
- 未知なるものの襲来 —— パニック、そしてゾンビ
- より鮮烈に、より残酷に —— オカルトとスプラッター
- 日本の恐怖映画

マスク着用のない方(2歳未満は除く)、体温が37.5℃以上の方は入館をお断りします。

【当館の新型コロナウイルス感染拡大防止策】
*来館者全員への検温を実施。 *館内各所に手指用消毒液を設置。 *清掃・消毒を強化。 *展示室内の換気を強化。 *スタッフはマスク・手袋等を着用して対応。 *受付等の対面場所に飛沫ガードの設置

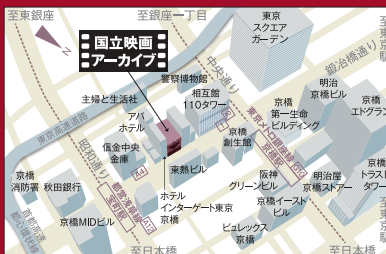
【ご来館の皆様へのおお願い】
*発熱や風邪などの症状がある方は、来館をお控えください。 *館内ではマスクを常時ご着用ください。 *館内で体調を崩された場合は、スタッフにお知らせください。 *こまめな手洗いや手指の消毒にご協力ください。 *入退場やご観覧の際は、互いに適切な距離を保つようお願いいたします。 *展示室内での会話はお控えください。 *ロビー等での飲食は、蓋の閉まる飲み物以外は禁止にさせていただきます。 *感染発生時の入館者追跡のため、ご自身で入館日時の記録をお願いします。 *その他、感染症防止に関する当館の指示をお守りいただきますようお願いいたします。



長瀬映像文化財団

国立映画アーカイブは長瀬映像文化財団の支援を受けています。

〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6
お問い合わせ: ハローダイヤル 050-5541-8600
国立映画アーカイブホームページ
www.nfaj.jp/jp/



交通

- ▶ 東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
- ▶ 都営地下鉄浅草線京町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
- ▶ 東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
- ▶ JR 東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分